

適合ドライブレコーダー(ミニUSB電源供給タイプ)

駐車監視の種類 ○:使用可能 ×:使用不可

**新 情 報** はこちらでご覧下さい!

メーカー名	品番	ミニUSBタイプ	駐車監視の種類	
			衝撃検知	動体検知
アズール	DRX-SMG01HR	5P	○	○
ケンウッド	DRV-MR740	5P	○	○
	DRV-MP740	5P	○	○
	DRV-340	5P	○	○
	DRV-240	5P	○	○

メーカー名	品番	ミニUSBタイプ	駐車監視の種類	
			衝撃検知	動体検知
パイオニア	VREC-DH700	5P	○	○
	VREC-DH600	5P	○	○
	VREC-DH400	5P	○	○
	VREC-DZ300	5P	○	○

メーカー名	品番	ミニUSBタイプ	駐車監視の種類	
			衝撃検知	動体検知
ケンウッド	DRV-W630	5P	○	○
	DRV-630	5P	○	○
	DRV-610	5P	○	○
	DRV-325	5P	○	○
	DRV-320	5P	○	○
	DRV-230	5P	○	○
パナソニック	CA-XDR72GD	5P	○	×
	CA-XDR71GD	5P	○	×
	CA-XDR51D	5P	○	機能なし
ガーミン	GDR 45J	10P	○	×
	GDR E350J	5P	○	機能なし
	GDR 33J	5P	○	機能なし
グリーンハウス	GH-DRA8GA-BK ※1	5P	○	○

※1 HDMI端子が使用できません。

メーカー名	品番	ミニUSBタイプ	駐車監視の種類	
			衝撃検知	動体検知
パイオニア	ND-DVR40	5P	○	○
	ND-DVR30	5P	○	○
	ND-DVR20	5P	○	○
	ND-DVR10	5P	○	○
アズール	DRX-P518 ※2	5P	○	機能なし
	DRX-G715	5P	○	×
	DRX-G515	5P	○	×
	DRX-415M	5P	○	○
	DRX-318	5P	○	○
	DRX-317	5P	○	○
ユピテル	DRY-ST7000c	5P	○	○
	SL2118DVR	5P	○	○

※2 AV IN 端子が使用できません。

\*上記ケンウッド製およびパイオニア製のドライブレコーダーは駐車モード設定、自動起動設定をONにする必要があります。

設定方法はドライブレコーダー付属の取扱説明書を参照ください。設定名称は機種により異なる場合があります。

\*上記パナソニック製およびガーミン、アズール、ユピテル、ソーリン、グリーンハウス製のドライブレコーダーの衝撃検知は常時録画上で行われます。

\*上記アズール、ユピテル、ソーリン、グリーンハウス製のドライブレコーダーの動体検知はドライブレコーダー本体での操作が必要です。

詳細はドライブレコーダー付属の取扱説明書を参照ください。

\*ミニUSB10Pタイプの1部の機種は使用ができません。

**■上記メーカーのドライブレコーダーは下記の条件で適合します。**

- 電源コード取付け部が「ミニUSB端子」の「5P」であること。

ミニUSB端子部には「5P」タイプと「10P」タイプがあります。

ドライブレコーダー付属のシガー電源コード等のミニUSB端子形状を確認してください。 [図-①]

- 電源コード取付け部周囲の状況が下記条件であること。

- ミニUSB端子部から20mm以内に障害となるものがないこと。(ブラケット・SDカード口・端子・他) [図-②]

- 嵌合部の上部から、取付開口部の深さが5mm以内であること。 [図-③]

図-①

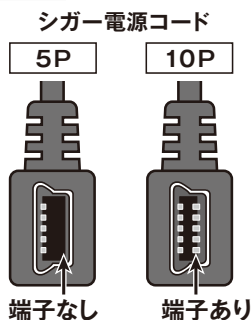


図-②

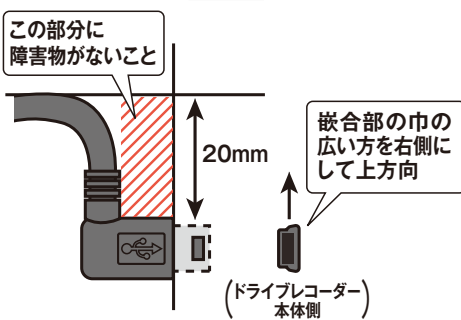
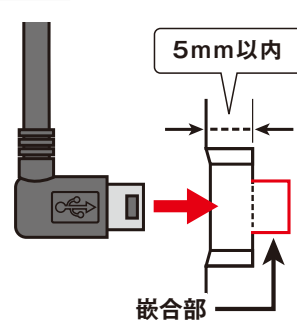


図-③



＜注意＞

- ・本製品の取付は必ず電気及び取付け知識のある専門店で行ってください。
- ・(接続方法)(注意)を守らない場合の機器、車両の動作不良、故障、火災、事故、又、データの補償は出来ません。
- ・ドライブレコーダーの仕様は予告なく変更される場合があります。
- ・衝撃検知、動体検知はドライブレコーダーの機能です。
- ・録画にはドライブレコーダー本体での設定および操作が必要な場合があります。ドライブレコーダー付属の取扱説明書を参照ください。
- ・適合条件はすべての機種を網羅しているものではありません。(適合しない場合もあります)

2019年2月現在の情報になります。

■本品使用によりエンジン停止後もドライブレコーダーに電源を供給することで駐車中の映像が録画できます。  
※電圧監視機能(カットオフ電圧設定)とオフタイマー機能(最長30時間)によりバッテリー上がりを予防します。

**接続方法**

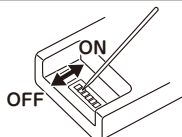
- ①ミニUSB電源コードと車両側電源コードをタイマー電源本体に接続してください。
- ②各端子を目的別に接続してください。

※スイッチ設定は配線後に行ってください。

**スイッチ設定**

▲十分に充電された状態のバッテリーで設定してください。消耗したバッテリーでは適正な設定が出来ずバッテリー上がりの可能性があります。

スイッチ設定は先端の細いつまようじ等で前後にスライドさせてください。



**<<カットオフ電圧の設定>>**

エンジン停止後、バッテリー電圧が下がった時に電源供給を停止する電圧値の設定です。

- ①バッテリーの性能、消耗状態と車両の電気的特性によって設定は異なります。必ず高い電圧から設定してください。
- ②30秒以内に電源が停止した場合は低い設定に変更してください。

▲変更する場合は一段階ずつ下げて確認してください。低すぎる設定の場合は、カットオフ電圧に達する前にバッテリー上がりを起こす場合があります。

	スイッチの設定	本体シールの表記 (スイッチ番号 1・2・3の設定)
12V車	12.6V (出荷時設定)	1 2 3 ○ ○ ○
	12.4V	1 2 3 ○ × ○
	12.2V	1 2 3 ○ × ×
	12.0V	1 2 3 ○ ○ ×
24V車	24.6V	1 2 3 × ○ ○
	24.4V	1 2 3 × × ○
	24.2V	1 2 3 × × ×
	24.0V	1 2 3 × ○ ×

ドライブレコーダー (市販)

ミニUSB電源コード

※駐車監視録画機能はドライブレコーダー本体で設定する場合があります。

※取り外しはコネクタ本体を持って行ってください。コードでコネクタが引っぱられないように配線してください。

- 電源LED 電源供給時、緑に点灯します。
- 設定スイッチ

タイマー電源本体

車両側電源コード (0.5SQ.X3本)

- (赤) アクセサリー電源 (ACC) … エンジンキーでON/OFFする電源に接続してください。
- (赤) ※
- (黄) 常時電源 (BATT) … エンジンキーでON/OFFしない常に電圧がかかっている車両側ヒューズを通った後の電源に接続してください。
- (黄) ※
- (黒) アース … 車両のアースのとれている金属部分のボルト、ねじに共締めしてください。

※使用しない場合はギボシキャップを外さないでください。

**<<オフタイマーの設定>>**

エンジン停止後もドライブレコーダーを動作させる時間の設定です。(エンジン停止時点/ACC OFFから作動します。)

駐車時間や車両の使用用途に合わせて設定してください。

	スイッチの設定	本体シールの表記 (スイッチ番号 4・5・6の設定)
タイマーOFF (出荷時設定)	ON 1 2 3 4 5 6	4 5 6 ○ ○ ○
1時間	ON 1 2 3 4 5 6	4 5 6 × ○ ○
3時間	ON 1 2 3 4 5 6	4 5 6 ○ × ○
6時間	ON 1 2 3 4 5 6	4 5 6 × × ○
12時間	ON 1 2 3 4 5 6	4 5 6 ○ ○ ×
18時間	ON 1 2 3 4 5 6	4 5 6 × ○ ×
24時間	ON 1 2 3 4 5 6	4 5 6 ○ × ×
30時間	ON 1 2 3 4 5 6	4 5 6 × × ×

※タイマーOFF設定の場合には本品はエンジン停止時作動しません。ドライブレコーダー内蔵バッテリーでの作動時間以上の監視録画は出来ません。

※オフタイマー時間設定内であってもバッテリーの電圧が下がった場合はカットオフ電圧設定が優先されて停止します。

●設定電圧と時間は使用環境により±3%程度誤差が生じる場合があります。

▲(注意)

ドライブレコーダーの電源が入らない、正常動作しない場合は、ドライブレコーダー本体の電源スイッチまたは、リセットボタンを押して動作を確認してください。(操作に関してはドライブレコーダーの説明書をご参照ください。)

- ドライブレコーダーの取付方法はドライブレコーダーの取扱説明書に従ってください。
- 本機はDC12V/24Vアース車以外では使用しないでください。
- 本機は防水構造ではありません。必ず車室内の直射日光の当たらない場所に取り付けてください。
- 作業前に必ずバッテリーの端子を外してください。
- 下記の場所には絶対に取り付け、配線をしてください。  
・エアバッグの動作を妨げる場所 ・視界や運転操作を妨げる場所  
・同乗者に危険を及ぼす場所
- 端子・コネクタは奥までしっかり差し込み、スリーブは金属部分が隠れるまで被せてください。
- コネクタ、プラグ部分に圧力が加わらないように、またジャバラ部、コネクタコード口付近を強く曲げないように接続、配線してください。
- コードを抜くときは必ずコネクタ、プラグ本体を持って行ってください。またロックがあるものは確実に解除し平行に抜き差しを行ってください。
- 配線コードが金属部分に圧迫されたり、キズを付けられないように配慮してください。
- 取付・配線後は車両の電装品が正常に動作することを確認してください。

- 適合品以外での使用や改造は行わないでください。
- 取付けは電気・取付け知識のある専門店で行ってください。
- 定期的に車両バッテリーの点検を受けてください。
- バッテリー上がりと付随する事象に関しては弊社は一切の責任を負いません。

▲(警告)

- (接続方法)(注意)を守らない場合には、機器の動作不良、または断線やショートにより故障や怪我・車両火災・事故の原因となります。